



未来へつなげる 「平和」

長崎に原爆が投下され、日本が終戦を迎えて、今年で70年になります。

310万人もの尊い命を犠牲にした太平洋戦争。今でも人々の心に深い傷痕を残しています。

大村も例外ではなく、昭和19年10月25日、「大村大空襲」が起こり、多くの犠牲者を出しました。

悲惨な歴史を繰り返さないためには、その歴史を知ることが大切です。

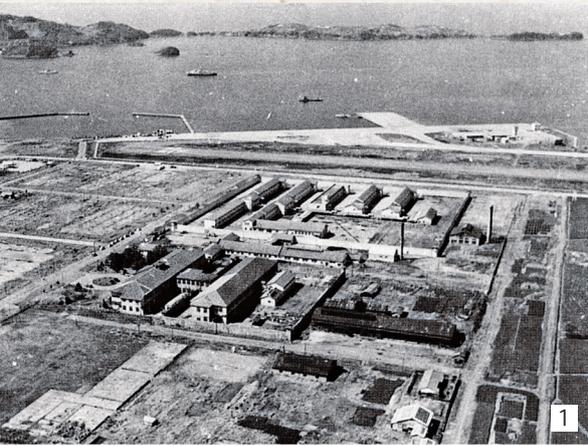
そして、大村にもその歴史を伝え残そうと活動している人たちがいます。

子どもたちの未来のために――

今、何を考え、行動し、未来に「平和」をつなげるのか。

「平和」について考えましょう。





大村大空襲

昭和19年10月25日

大村には、東洋一といわれた軍の飛行機製作工場・第21海軍航空廠しょうくがありまし
た。日本中から集められた技術者や工
員、学徒など約5万人が働く大規模な
工場でした。

昭和19年10月25日、午前9時40分ご
ろ、米軍の爆撃機B29が数十機飛来し、
航空廠を中心に爆撃を開始。市内には
空襲警報が鳴り響き、250キロ爆弾を

はじめ焼夷弾しょういだんなどが2時間余りにわたっ
て投下されました。この大空襲で、学徒
を含む約3000人の尊い命が奪われ、負
傷者は400人以上にのぼり、航空廠は
壊滅的な被害を受けました。この後も、
空爆は萱瀬地区などにあつた疎開工場
を中心に、終戦を迎えるまで30数回繰り
返され、市民の暮らしを脅かしました。

1 昭和28年頃の第21海軍航空廠本部付近。2 第21海軍航空廠殉職者之碑（松並2丁目）。毎年10月に慰霊祭が行われる。3 空襲時の弾痕が残る第21海軍航空廠防空壕（古賀島町）。4 中学生の動員学徒。九州各地から約1万人の学徒が動員された。

体験談
第21海軍航空廠の終焉を語る

口では言い表せない 惨劇だった

昭和16年、当時17歳だった神近さんは
第21海軍航空廠に設計工として入廠。航
空廠の施設や宿舎、住宅などの設計に
携っていました。

大空襲の日、本部の見張所で監視を任
されていた神近さん。「西彼杵半島から
飛来するキラキラ輝くB29の姿が見えた。
恐ろしくなり、あわてて工場を見に行っ
た途端に、バラバラと爆弾が落下。ものす
ごい音が響くなか、『防空壕に入れ！こっ
ちへ来い！』と学徒たちを避難させた。空
襲が止むと、きれいに立ち並んでいた工場



1 炎上する第21海軍航空廠 2 航空廠本部庁舎

の構造物は鉄がむき出
しになったり、燃えたり
見るも無残に。爆弾が落
下したところは大きな
穴があき、馬がその中で
死んでいた。」と当時の惨
劇を振り返ります。

「皆さんには当時を物
語る史跡を実際に見て、
歴史を感じ取ってほしい。
若くして亡くなった仲間
たちのことを思うと残念
でならない。ここ大村で
起きた戦争を多くの人
に伝えて、今の子どもた
ちには後悔のない人生を

勇気を持って歩んでほしい。」と神近さん。
今後は、「子どもたちにもわかるような、
航空廠の歴史をまとめた本を製作した
い。」と、後世への継承を願ってやみません。



かみちか よしみつ
神近 義光さん(90)



子どもたちの未来へ

過去を知ること、考えることで、正しい判断力を身に付ける。平和な社会を未来へつなげる

8月15日の終戦記念日に向け、市内の各小・中学校で、平和学習が行われます。戦争を知らない世代だからこそ、過去から学び、未来に生かしていくために。

戦争のない世の中に

私は、平和学習を学んで、戦争は、とてもこわくて悲しいものだと思います。家族を一瞬にして亡くされ、親子で家族の死体を燃やした戦争の体験談を聞いて、とてもつらかったらうなと思いました。爆弾は人の命や財産だけでなく人の心までも奪います。私は、核兵器を地球からなくし、戦争はいやだと言える大人になりたいです。



富の原小学校6年
ひらど しずく
平戸 穏空さん

未来を託された私たち

戦争は決して教科書の中だけの出来事ではありません。わずか70年前、私たちの身近なところで、身近な人たちが、その時代を生き延びました。

私たちが過ごしているこの平和な日々は、悲しい戦争の歴史を乗り越えて築かれたもの。私たちは、あらためてそのことを学び、どうすればこの平和をいつまでも守っていくことができるのかを考えなければなりません。

平和な未来をつくるのは、平和な今を生きている私たちです。

大村の戦争の記録を『新編 大村市史』第四巻に掲載し、来年の春に発売する予定です。

■市史編さん室(内線494)



史料館夏の企画展
「70年前の夏～太平洋戦争を振り返る～」開催中

とき 8月16日まで(月曜休館)
ところ 市立史料館

内容 パネルや写真、当時の貴重な品を展示しています。

■文化振興課(内線386)

平和への誓い新たに
長崎・広島で原爆や戦争の犠牲になられた人たちのご冥福を祈って、サイレンを鳴らします。1分間の黙とうをささげ、平和への誓いを新たにしましょう。

広島原爆祈りの日
8月6日(木)、午前8時15分

長崎原爆祈りの日
8月9日(日)、午前11時2分

全国戦没者追悼式
8月15日(土)、正午

大村市は「非核・平和都市宣言」のまち
※宣言文は市ホームページでご覧いただけます。
■福祉総務課(内線157)